

第118回

ISFHS

symposium

フグ食文化の 高度化と国際化

長崎のフグ食とフグ養殖の高度化 征矢野清(長崎大学)

フグの安全確保とその問題点 長島裕二(新潟食料農業大学)

フグのフードシステムと フグ食文化の将来 濱田英嗣(摂南大学)

> フグ食文化の国際化 古川幸弘(国際ふぐ協会)

2022年 1月10日⇔▶11日⊜३

会場:出島メッセ長崎

くじらは長崎にあり

川島明子 (長崎鯨食文化を守る会・ 川島学園)

魚介食と 食物アレルギ

塩見一雄 (東京海洋大学)

> 60周年記念講演1 新型コロナウイルス感染症が 私たちに教えてくれたこと 有吉紅也(長崎大学)

60周年記念講演2 リスクバランスからみた 食品の安全性 平原嘉親(摂南大学)

|60周年記念講演3| 食品安全分野の リスクコミュニケーションの 現状と課題

堀口逸子(食品安全委員会·東京理科大学)

一般研究発表(□頭、ポスター) | 演題募集2022年6月20日(月)~8月26日(金)

参加費(公開シンポジウムのみの参加は無料) | 会員(事前)7,000円・(当日)8,000円 | 非会員(事前)11,000円・(当日)13,000円 | 学生1,000円

主催 | 公益社団法人 日本食品衛生学会・共催 | 国立大学法人 長崎大学

◎問い合わせ先:公益社団法人 日本食品衛生学会 第118回学術講演会実行委員会

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-6-1 食品衛生センター内 | TEL 03-3470-2933 | FAX 03-3470-2975 | E-mail koenkai@foodhyg.or.jp